

ついでに レポート

No. 401



日本共産党区議会議員 おぐり智恵子の

議員活動報告

事務所: 中央区日本橋人形町1-10-8
自宅: Tel/Fax 3249-1762

発行・日本共産党中央区議会議員団 Tel 3546-5563

HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

豊洲に移転し「築地は守る」?

築地市場の再整備こそ食の安全を守る道

基本方針を発表

小池都知事が、6月20日、築地市場の移転問題について基本方針を発表し、「築地は守る。豊洲は生かす」と強調しました。築地市場を売却せずに市場としての機能を確保するための方策を見出し、いきなり、と述べたことは、「築地ブランド」を守りたいという都民の世論、業者の願いを反映したものだと思えますが、この基本方針は、築地市場を豊洲に移転することが

柱になっています。

知事は「築地市場は5年後をめどとして再開発する。環状2号線は五輪前に開通させる。そのあとの築地市場跡地は五輪用のデポ、輸送拠点として活用する。その後、食のテーマパーク機能を有する新たな市場として東京をけん引する一大拠点にする考え方だ」と述べました。

問題点は払拭されない

築地をいったん更地にして移転を進めることは「食の安全・安心」の確保の点から大問題です。豊洲は30年以上、石炭などから都市ガスが製造され、発がん性物質のベンゼンなどの有害物質が地中深くしみわたった土地です。今年3月、環境基準値の100倍のベンゼンが検出され、知事自身も6月議会で「無害化は達成できていない」と謝罪していました。新たにコンクリートを床に敷くなどの「追加

対策」をしないと、コンクリート劣化などで気化した汚染物質の上昇を完全には防げないと言効性を問う声が上がっています。生鮮品を扱う市場機能を豊洲に移転することは「食の安全・安心」の面からいってありえません。

「築地を守る」には

世界が注目する「築地ブランド」を守る点ではどうでしょう。水産物取扱量では世界一を誇り、都心の一等地にある築地を支えているのは長年の歴史で培われた仲卸業者の目利き(品質と値段設定)の技です。

豊洲に行ったら資金や人員不足などで仲卸業者は激減すると業者は批判の声を上げています。豊洲と築地に分かれたら築地の市場機能を確保することも極めて困難になります。(裏面に続く)



現在の築地市場=市場問題PT作成資料より

「現在地再整備」は可能

築地の現地で再整備する案は、都の会議をはじめさまざまに提案されています。

知事が、「築地を守る」というなら、豊洲移転の方針は再検討して、築地市場の現在地再整備のあり方を、市場業者のみなさんと真剣に協議すべきではないでしょうか。

「食のテーマパーク」案

小池都知事が基本方針で述べた「築地市場跡地を『食のテーマパーク』に再開発する」という発言で思い出したのは、2010年に中央区が発表した「賑わい施設」構想（下図）です。

この図は、築地市場移転後の「築地のまちづくり」について、コンサルタントとして区が委託した大手設計会社である（株）日本設計が作成したものです。

この報告があった当時の築地等まちづくり及び地域活性化対策特別委員会で、志村たかよし議員は「都議会で現在地再整備をめぐって議論がされているときに、地元区が、移転を前提としたビジョンを発表するのは間違っている」ときびしく区を批判しました。区は「基本的に現在地再整備を望んでいる」「万が一に備える」ため「区の考え方をまとめて都に要望した」と答弁していました。

地元から「再整備」の声を

日本共産党区議団は、地元区が「現在地再整備」を都に強く求めていくことが重要だとして、区長に対し、繰り返し「市場移転断固反対」に立ち戻るよう要請してきました。

これからも、「築地を守る」ため、現在地再整備を求め、都と区にも要請を続けていきます。

2010年10月27日に中央区が都に提案した「賑わい施設」イメージ

23haある築地市場の敷地のうち、場外市場側の10haを市場機能として残り「にぎわい施設」をつくる案（区資料より抜粋）



■都市計画を活用した高度利用エリア

- 立地適性制度を活用し、環状2号線上に産業集積化の本拠地ビル等を建設する。
- 環状2号線と併走し、人工地盤を整備する。
- 特許付種率制度等を活用し、高層ビルやエントランスの付帯を多量に建設し、活用を図る。
- 外周部には高層ビル等と併走する緑地帯を設ける。

■築地の豊かな歴史と文化を継承するエリア

- 築地が長い歴史の中で育んできた、水や畑に由来する色んな文化を現代の気風と融合し、新しい街の名称を定めていく。
- 築地発祥の地（明治期）としての歴史性、幕末から明治へ新しい時代の開拓を象徴する日本橋のモニュメントが建設された歴史

■まちのシンボルとなる波除参道

- 賑わい施設と場外市場を繋ぐ結節点であるため、長町通りの歩行者優先化を図る。
- 風情豊かな参道にアスファルトにまちのシンボルとなる彫刻として整備する。
- 通りに直してイベント・広場等を創出する。季節毎に異なる多様なイベントを開催。